

# 望退職150人募集

部品など機製作所  
11日、1  
退職者を  
再雇用社員が対象。  
募集期間は5月18〜31日  
までで、退職日は6月30日。

か、希望者に再就職支援も実施する。  
募集に伴う費用などは、2024年3月期連結決算で特別損失として計上する予定。人員構成の適正化を図り、筋肉質な収益体質を目指す。

カーリース&カーシェア

— 信頼と実績 —

## 名鉄協商のカーリース

名鉄協商 検索

○…1日付で社長にしたJR東海社長の丹介さんは、リニア中央線の計画について「日大動脈（輸送）を二重し、大規模災害や東海幹線の経年劣化に備えと狙いを語る。「東京、古屋、大阪の三大都市一体化する効果も期待

## 仏壇店の佛庄総本店 リフォーム事業に参入

工事への  
いない。  
JR東海  
インタビ  
では27年  
京・品川  
し「開業  
と言及。  
いた名古  
不透明感  
羽氏は12  
れ川勝平  
は昨年5  
前倒しを  
ら建設主  
のアセス  
うに必要  
く」と述



「名古屋のランドマークとなる物件を手掛けたい」と語る中山社長

## 中山不動産 中山耕一社長に聞く

(なかやま・こういち)

事業内容と強みは。  
「主力事業は、エンドユーザー（一般消費者）向けの『売買不動産事業』と、投資家向けの『収益不動産事業』。売買不動産事業は、愛知県内で年間1000戸程度の中古マンション、二戸建てを買い取り、リノベーション（大規模改修）して販売している。テレワークスペースのある物件、駐車場が広い物件など、差別化した物件を取り扱う。収益不動産事業は、サラリーマンなど不動産投資に興味がある人が対象。中古ワンルームや新築アパートなど400万〜1億

### 東京プロマーケット 新規上場

不動産事業の中山不動産（本社名古屋市中区）は26日、東京証券取引所の特定投資家向け市場「東京プロマーケット」に上場する。東海3県を中心に、一般消費者と投資家向けに住宅事業を展開。上場を機に関東へ進出する。また、来期（2025年1月期）をめどに名古屋証券取引所のネクスト市場へ上場を目指す。中山耕一社長に上場の狙いや今後の事業方針を聞いた。

円の物件を提供しており、物件の維持管理も手掛ける」  
— 定元の業績は。 —  
(野田哲示)

## 営業エリア、関東へ拡大 来期、名証上場も視野に

「23年1月期は、売上高が28億円(22年同期は20億円)、営業利益は4300万円(同3800万円の赤字)だった。

直近は新型コロナウイルスなどの影響で赤字の時期はあったが、現在は好調。空き家の利活用や、不動産投資が注目されている。今期は売上高36億円、営業利益は1億1千万円を見込む」  
— 新規上場の狙いは。 —  
「資金調達により、物件のレパートリーを増やすためだ。今期から木造以外に、鉄筋コンクリート(RC)造りの物件に着手する。そのほか、収益不動産でも1億円以上の物件を提供したい。当社には『名古屋のランドマークとなる建物を手掛ける』という目標がある。名古屋駅、伏見、栄などで名古屋を代表する物件を手掛けたい」  
— 東証の特定投資家向け市場を選んだ理由は。 —  
「タイミングの問題だ。一般の投資家が集まる市場で上場するには、内部統制の面などでまだ早いと判断した。ただ、来期をめどに名証(ネクスト市場)もしくは、東証(グロース市場)への新規上場を目指している」  
— 今後の事業方針は。 —  
「上場を機に、関東へ営業エリアを拡大する。来期をめどに、関東で営業所を開設したい。また、新卒採用のほか、中途採用も強化する。不動産業界はキャリア採用が多いが、業界の経験がない人でも戦力になる研修制度を構築する。上場を機に、良い人材を取り込みたい」